

さくらんぼ

この情報誌は、“さくらんぼ”のカタチに重ね、女性と男性と一緒に並んで“実”となり、その“実”が繋がると“房（男女共同参画社会）”になるように育ってほしいという願いから名づけられました。

今回の情報誌では、今年度実施した「男女共同参画フォーラム」と、「女性に対する暴力をなくす運動」についてお伝えします。



人を集める、人を活かす。
楽しくなくちゃ続かない！
文化活動で地域の活性化。

8月26日、市民会館中ホールで男女共同参画フォーラムを開催しました。今年度は、『地域でつながり 地域で生きる』をテーマに、北海道医療大学看護福祉学部准教授 長谷川 聡さんを講師にお招きし、自らが参加されている地域活動でのお話を伺いました。

長谷川さんは、コミュニケーション学が専門で、地域コミュニケーションをテーマに中高年の健康といきがいづくりを実践されながら、研究に取り組んでいます。その活動の一つで、日本で使わなくなった車いすを整備し、海外へ届ける活動をしている『「NPO法人 飛んでけ！車いす」の会』の活動があります。この団体は、手に技術を持つメンバーが寄付で集めた車いすを修理して、障がいや国境の垣根を越え、誰もがその人らしく生きられる社会の実現を目指し、発展途上国の病院や施設に、直接送り届けている団体です。そこには、車いすを保管す



るための倉庫を提供してくれる企業、運送に協力してくれる企業の存在も大きなものだといいます。空港へ行く運送車の片隅を無償提供してもらい、積荷と一緒に運んでもらいます。その後、目的地の空港へ行く旅行者にボランティアをお願いし、手荷物として運んでもらいます。もちろん、手荷物として航空会社の協力も得ていて、オーバーチャージはなし。目的地の空港から先は、現地のボランティアの手で運ばれていく…というふうに世界中でボランティアを繋げているのです。

発足から18年が経過し、海外へ飛んでいった車いすは78か国2,600台を超えたそうです。

身をもって教える身の引き方

活動を通じて学んだことは、「誰もやっていない“初めて”の発想と行動」、「若者をオモテに、年寄りにはウラに」、「賞を取れ！社会に褒められて育つ」だと長谷川さんは話します。

「活動は若者が活躍してなくちゃ。ジジイばかりじゃおもしろくないでしょ。それに人は褒められると、いい気分になって育つもんだしね」と。

活動には「楽しさ」がないとつまらない。若者の価値観は多様化していて、つまらないと若者はやってこない。若者がやってこなければ、いつまでも人材は育たず、特定の誰かにどっかり重荷ばかりがのしかかる。そうすると、やっぱりつまらなくなってしまう。そんな悪循環。

そこで、長谷川さんは、つまらない活動にしないために、年長者は身をもって身の引き方を教え、邪魔をしない先輩でいることが大事だといいます。若者がオモテで動き、それを知識と経験を持つ年長者がフォローする。活動から退いても、求められれば相談にのったり、協力したりしながら、後任に任せて放っておく。それだけでも関係は円滑に、地域はもっと深く繋がっていくものなのだそうです。

▶ 地域と男女共同参画

長谷川さんは、自身の活動から「このまちで 誰も見守り 見守られ あなたという 誰かのために 生きていたい」という言葉で講演を締めくられました。今回の男女共同参画フォーラムでは、地域の中で、私たちができる小さなことを、参加者それぞれが考えさせられるものでした。

ですが、皆さんの中には、「地域」と「男女共同参画」は何が関係しているのかという疑問があるかと思います。男女共同参画の考え方には、性別や年齢に関わらず、豊かな暮らしをめざすというものがあります。その中で「地域」というキーワードはとても大切で、人と人の繋がりがその豊かさを支えてゆく基本であるとしています。

「隣のおじさんが骨折して動けないんだって。でも一人暮らしよね。大丈夫かしら。」なんてご近所の世間話があったとします。こんなとき皆さんならどうしますか？ 今の時代、「オンリーワン」とか「個の尊重」とか言われます。これも確かに大事ですが、「孤立」することとは別物ですよ。地域が繋がってれば、必要なときに助け、支えあいができます。人は一人では生きていけません。そこに年齢や性別は関係なく、「支えあい」が必要であると男女共同参画ではいっているのです。すべての人が心豊かに暮らすため、あなたに出来ることを、ちょっとだけ実践してみませんか。



会場で実施された「女性ネットワークえにわ」の加盟団体による活動紹介パネル展



毎年11月は『女性に対する暴力をなくす運動』です。パネル展を実施しました。

毎年、11月12日から25日は内閣府が定める「女性に対する暴力をなくす運動」週間です。いわゆるドメスティック・バイオレンス（DV）を撲滅するための啓発週間です。今年度は、総合体育館のロビーにてパネル展を実施しました。

近年では、女性が被害者となるケースだけではなく、男性が被害者になるケースのほか、同性間カップルでのトラブルも多くなっています。性別に関係なく起こりうるDVは、発見が遅れると命を脅かす事態になることもあるのです。

DVは、性別を問わずあってはならないことです。あなたやあなたの周りで、DVで悩みをお持ちの方がいたら、迷わず相談をしてください！男性専用の相談ダイヤルやシェルターも開設されていますので、まずはご相談ください。

詳しくは、市ホームページにある『女性のための相談窓口のご案内』または『男性のための相談窓口のご案内』をご覧ください。

発行 平成28年12月

恵庭市総務部総務課
総務・男女共同参画担当
TEL 33-3131 (内2215)
FAX 33-3137

ご意見、ご感想をお寄せください。